

令和6年度岩手県林業技術センター試験研究評価実施結果

1 目的

(1) 試験研究の効果的・効率的な推進を図るため試験研究評価を実施する。

試験研究課題の選定から試験研究終了後の成果の普及に至るプロセスに関し、適切な評価を実施することにより、効果的・効率的な試験研究の推進を図る。

(2) 評価等の客観性・透明性を確保するため、県の組織に属さない外部有識者等を会員とする外部評価を実施し意見を聞く。

2 外部評価協議会の開催日時等

(1) 日時 令和6年9月13日(金) 13:30~16:00

(2) 場所 岩手県林業技術センター 講義室

3 評価会員

岩手県林業技術センター所長が選任する。

所 属 等	氏 名
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 東北支所長	山中 高史
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場長	三重野 信
岩手県立大学 研究・地域連携本部 地域連携コーディネーター	渋谷 晃太郎
奥州地方森林組合代表理事組合長	小原 剛一郎
ノースジャパン素材流通協同組合 理事長	鈴木 信哉

4 研究課題に対する総括評価結果

課 題 名		総括評価 (※)	総括評価に関する主なコメント
効果的なウルシ実生苗の安定生産技術の開発	終了	A : 2 B : 2 C : 1	<ul style="list-style-type: none"> 大きな成果なので、より広く伝える必要がある。 地域のニーズに応じて技術開発に取り組み、十分な成果を上げている。 研究の発展可能性の事項に沿って検討すべき。分根による増殖も検討すべき。
アミガサタケ人工栽培技術の開発	継続	A : 4 B : 1 C : 0 D : 0	<ul style="list-style-type: none"> 様々な栽培環境を想定して技術開発に取り組んでいる。 地域振興に資する課題であり、今後も優先的に取り組む必要がある。 栽培種の種名の確立、優先品種の作出と品種登録のほか、収益性の検討も行う必要がある。

※ 総括評価 【終了課題】 A : 目的を達成 【新規課題】 A : 優先的に実施

B : 目的をほぼ達成

B : 早期に実施

C : 目的を未達成

C : 計画見直し等

【継続課題】 A : 十分な成果が期待、優先的に取り組む必要

B : 一定の成果が期待、継続して取り組む

C : 見直し、計画再考

D : 中止